

岩城 晶巳 議員（代表質問）

1 滑川市の安全・安心について

- (1) 庁舎の耐震化を終えたが、この地盤で大丈夫なのか。
- (2) 備蓄は万全なのか。
- (3) 各地区にある防災備品は点検されているか。
- (4) 防災アドバイザー資格者がたくさんいるが、勉強会や情報交換会など必要では。

2 観光について

- (1) スポーツ観光事業の大切さが言われているが、滑川市の考え方は。
- (2) 魚津市の全日本大学女子野球選手権大会、氷見市の春の全国中学生ハンドボール選手権大会などのように、中学生や小学生の全国大会の誘致はどうか。野球場が3面、サッカー場は5面ある。せっきくの施設であり有効活用せよ。
- (3) 全国中学校体育大会が北信越地区で開催される。富山県での開催種目は、サッカー、バレーボール、卓球とのこと。新川地区はバレーボールと聞くが、滑川市での試合予定はあるのか。
- (4) 2018年に第31回全国健康福祉祭ねりんピックが富山県内で開催される。滑川市での開催種目はあるのか。
- (5) 滑川市の一番の売りはホタルイカであるが、今までは期間が限定されて、夏から冬場は食することができなかった。しかし今回の補正で急速冷凍・冷蔵庫の購入とのこと。詳しい内容を知りたい。

3 教育について

- (1) シャンバーグ市との国際交流について、グローバル化の時代の子ども達に夢を持たせ、外国の雰囲気味わわせ、将来ある子ども達の人間形

成に役立たせるのも大人の責任なのではないか。親善訪問を早期に実現すべきと考えるが。

- (2) 昨年、市内の小学6年生全員の新幹線を利用しての小諸市訪問は、子ども達には好評ではあったが、問題点は、小諸市での滞在時間が3時間に満たないのと、駅からの移動に利用するバス代の負担が大きいとのことだった。今年は是正できるのか。
- (3) ラジオ体操ができない若者が多くなっていると聞く。小中学校で指導してないとのことであるが、滑川市ではどうなのか。

4 公共建物・市有地の活用について

- (1) 昨年11月に議会の「公共施設のあり方検討特別委員会」が提言した事項を、これからどう政策に反映させるのか。
- (2) 滑川市駅前団地、旧藤井歯科医院、旧酒井歯科医院の取り壊しが予定されているが、その後の跡地の利活用はどうなっているのか。
- (3) 滑川市は高速インターチェンジもあり、用地も確保している。立地的に問題はないと考えるが、企業の誘致はどうなっているのか。

高木 悦子 議員（代表質問）

1 防災・減災対策について

- ・ 能登半島地震、中越地震、東日本大震災そして今回の熊本地震と大きな震災がある度に、一時的に市民の皆さんの防災への関心が高まる。大きな災害の発生は、自治体として政策をチェックするチャンスと考える。
 - ア 自助を促すための滑川市の取り組みについて
 - (ア) 避難をする前に、自宅など建物の中で命を失わないために必要なことの備えを促しているか。（建物の耐震化や家具の転倒防止など）
 - (イ) 家族の安否確認方法や、災害情報を得られるツールの利用を具体的に促しているか。
 - (ウ) 「防災ラジオ」の販売から3年半が経過しようとしているが、各家庭での利用状況の確認や、未購入の世帯への購入の働き掛けが必要ではないか。
 - (エ) 滑川版の「東京防災」が作成できないか。（防災ブックの書籍版・電子版）
 - イ 共助を促すための滑川市の取り組みについて
 - (ア) 「災害時要援護者」の登録や更新、必要な情報の共有は図られているか。
 - (イ) 「自主防災組織」の組織率の向上の時期を終えて、実効性を高めるための工夫が必要な時期にきているのではないか。
 - (ウ) 市民の皆さんの防災意識を高めるために、東京都などで取り組まれている「学校宿泊防災訓練」、合わせて住民による「炊き出し訓練」を実施できないか。
 - ウ 公助について。
 - (ア) 橋梁の長寿命化が進められているところだが、耐震という観点から、滑川市内の危険と思われる橋梁の状況はどうか。
 - (イ) 指定避難所の中には青雲閣など未耐震のものがあるが、幼稚園や保育園など民間の施設を含めて、指定避難所の耐震状況はどうなっているか。
 - (ウ) 指定避難所の建物本体の耐震化だけでなく、設備の耐震化の状況はどうなっているか。
 - (エ) 「危険老朽空き家」の存在は、地震発生時に避難路をふさいだり、周辺の住宅に被害を拡大させたりする危険性もある。危険老朽空き家の把握並びに、対応の現状はどうなっているか。
 - (オ) 災害時にライフラインの確保は不可欠だが、配水池などの耐震状況はどうか。また、水道事業ビジョンによれば、平成36年末まで

の10年間で管路の耐震化率はわずかに2.2%しか向上しないとなっているが、計画を前倒しするなどの考えはないか。

- (カ) 「福祉避難所」について、老人保健施設3箇所が指定されているが、妊産婦や障がい者、乳幼児にも福祉避難所を必要とするケースがあるが、それらの方々のための福祉避難所対策はどうなっているか。
- (キ) 指定避難所の防災設備と備蓄について、非常用の発電や水や非常食、毛布など備蓄品の配備状況はどうなっているか。
- (ク) 東日本大震災の際、避難所開設から2週間目でも多くの不足物資があったことが報告されているが、滑川市の現状の備蓄品について、どのように分析しているか。
- (ケ) 「流通備蓄方式」の導入により、必要物資の備蓄を検討できないか。

エ 避難所の運営について

- (ア) 具体的な避難所運営マニュアルはできているか。
- (イ) 避難所の運営は、一定の時期から行政から住民へのバトンタッチが理想とされているが、運営の受け皿について、どのように考えているか。
- (ウ) 指定避難所となっている地区公民館や、幼稚園や保育園などの関係者と、避難所となったときの対応を協議しているか。
- (エ) 避難所におけるセクハラや、レイプなどの性犯罪が多数報告されている。防犯のために男女別に避難所を区別することなども、過去の反省から提案されているが、避難所における女性への犯罪防止を想定しているか。
- (オ) 小さなお子さん連れの避難者、発達障害児を抱えた避難者、ペット連れの避難者などは周囲への心配りで、ただでさえ不安な避難生活の中で避難所に居られないというケースが起きているが、想定しているか。
- (カ) 指定避難所ごとに、避難者の様態に応じた居室の割り当てなど図面に落とし込んだり、あるいは施設全体を特定の対象者(例えば、妊産婦や乳幼児の保護者限定など)向けに指定するなどの検討をしているか。
- (キ) 前述のセクハラやレイプに限らず、着替え場所やトイレの確保、生理用品や下着の配布など、避難所における女性に対する配慮不足が多数報告されている。女性による女性のための対策チームが検討できないか。

2 滑川市文化・スポーツ振興財団の雇い止め訴訟について

- (1) 平成27年9月議会の石川副市長の答弁によれば、平成24年秋に市民交流プラザの民間企業への指定管理選考結果を受けて、雇い止めの交渉に入ったということだが、平成24年12月議会では議会で民間企業の指定管理は否決され、文化・スポーツ振興財団が引き続き継続されることになったにもかかわらず、雇い止めの決定をしたのは誰なのか。理事会での決定事項であるならば、理事会の会議録は残っているか。
- (2) 今回訴訟を行った2名の職員以外に、雇い止めを行った臨時職員はいるのか。
- (3) 雇い止めを通告する以前に、手順等について弁護士に相談はしたのか。
- (4) 2名の雇い止め後、平成25年4月から新たに雇用した臨時職員はいるのか。
- (5) 昨年の9月議会には和解金910万円の予算計上をしておきながら、判決が確定して1,500万円程度の未払い賃金や遅延利息、訴訟費用などの支払が発生したにもかかわらず、補正予算ではなく「文化・スポーツ振興財団の今後の運用で対応する。」とした理由はなぜか。
- (6) 「文化・スポーツ振興財団の今後の運用」とは、滑川市からの指定管理料、すなわち滑川市民の税金ということに変わりないと思うが、市民の皆さんに与えたこの損害の責任は誰にあるのか。
- (7) 今後、責任の所在を明らかにして、滑川市民に与えた1,500万円の損害賠償を検討する考えはあるか。

3 認定創業支援計画について

- (1) 「産業競争力強化法」に基づく、全国の市町村による「創業支援事業計画」の認定が進んでいる。現在、1,158の市区町村で1,022件の「創業支援事業計画」が国の認定を受けているが、滑川市ではまだ事業計画の認定がされていない。認定に向けた予定はあるのか。
- (2) 滑川市で起業を検討された女性が、中小企業庁が外部委託している「創業・第二創業促進補助金」を受けようと考えられた時に、滑川市が「認定市町村」になっていないことを理由に、滑川市での創業を断念された。100万円から最大1,000万円の補助金を得られる機会を逸して、滑川市で

の起業の芽をつぶしているとは思えないか。

古沢 利之 議員（代表質問）

1 防災対策について

- ・ 一連の地震を含め、各地で災害が発生するもとの、防災計画の見直し、充実が必要となっている。特に災害時要援護者への対応が注目されている。
 - ア 本市での福祉避難所の指定、対応はできているか。
 - イ 「防災計画」では「避難支援プラン」を策定することになっているが、できているのか。
 - ウ 発達障害者など個別の対応が必要になることが報道されている。検討されているか。
 - エ 「情報バリア」をどうなくすか。例えば聴覚障害者は音声による情報を得られず、災害の発生そのものがわからない。

2 就学援助の充実について

- (1) 就学援助の「準要保護」対象認定基準所得を、生活保護認定基準の1.0倍とするのは変更しないのか。
- (2) 保護者への周知は新入学時に限られているのか。毎年度行うことは考えないか。
- (3) 支給額の算定は、国基準単価によっているのか。国基準は現実からみて低すぎないか。
- (4) 新入学児童生徒学用品費は、入学前に対応できるようできないか。

3 農業対策について

- ・ 米の生産調整による直接支払交付金（10アール当たり7,500円）が平成29年度で終了する。生産者の不安にどう応える。

4 松くい虫被害対策について

- ・ 海岸線を中心とした松くい虫被害が収束していない。引き続き対策が

必要である。対応を問う。

水野 達夫 議員（一般質問）

1 児童館について

- (1) オープン以来、連日にぎわいを見せている新児童館において、5月末現在までの概ね1カ月の来館者数はどれくらいか。また、来館者の市内と市外の比率はどうか。
- (2) 市長の提案理由説明によれば、今後ソフト事業を充実させるとあるが、具体的にはどのようなことを考えているのか。例えば、利用者からアンケート等でニーズを掴みながら今後のソフト事業の充実を考えればどうか。
- (3) ハード事業はこれで完成なのか。今後の来館者や花しょうぶの見頃など時期的なことを考えると駐車場不足が懸念される。駐車場不足に関して市の見解はどうか。
- (4) 旧児童館の跡地利用についての市の見解はどうか。特に、SL機関車の今後の取扱いについてどう考えているか。

2 小中学校の児童・生徒数の現状及び今後の推移について

- (1) 市内7つの小学校児童数及び2つの中学校生徒数の現状及び今後の推移についての市の見解はどうか。
- (2) 5～6年後の児童数・生徒数の推移を見れば、中期的な課題が見えてくる。この対策を早急に検討すべきだと思うがどうか。

3 文化財の活用について

- (1) 今年3月、文化審議会文化財分科会から文部科学大臣へ答申が行われ、近く田中小学校旧本館が国登録有形文化財（建造物）に登録予定であると聞いている。田中小学校旧本館の今後の利活用等について教育長の見解はどうか。
- (2) 西地区のエリアには、他にも後世に伝えていくべき文化財がまだまだ

ある。例えば、これらを紹介するための（仮）宿場回廊西ルートを整備し、ふるさと教育の一環として活用することはできないか。

4 職員の配置体制について

- (1) 新年度からの各課の減員状況はどうか。
- (2) 平成27年と平成28年において職員一人当たりの超過勤務時間はどうか。
- (3) 適正な職員数の確保と適正な配置に向けての今後の方針について市の見解はどうか。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 公共交通の利便性の向上について

(1) コミュニティバス運行事業について

ア 近年、高齢者による、自動車の自損事故や交通事故が増え、社会問題となっているが、本市における、高齢者運転免許証の自主返納事業で、返納した際、のるmy carフリー乗車券を発行しているが、実態はどうか。

イ ここ数年、利用者が増えない傾向にあるコミュニティバス事業について、利用者増へ向けた取り組みをし、検証をしているのか。

ウ 先日、改正された時刻表について、表紙に「ご利用いただき、ご意見やアイデア等をお聞かせください」と書かれてあるが、利用者からの声を把握し改善しているのか。

(2) 市民の通勤・通学に欠かせない、あいの風とやま鉄道、富山地方鉄道の、市内各駅の更なる利便性の向上について、今後どう取り組んでいくのか。

2 スポーツ振興について

(1) 2020年に開催される、東京オリンピック・パラリンピック、その他大きなスポーツ大会に対しての合宿誘致に向けた取り組みは。

(2) 第4次総合計画後期基本計画の中で合宿施設の整備と明記されているが、どういった計画なのか。

3 子育て支援政策について

- ・ いまだに具体化されていない、多世代同居や、近居住まいの推進について、前任者からどう引き継ぎ、今後どう取り組んでいくのか見解を問う。

4 子ども達の学力向上について

(1) 今定例会でジョブキッズとやまへの協賛費が予算化されている。協賛

する背景と目的は。

- (2) ジョブキッズとやまを応援するのであれば、小学生の夏休みの宿題にある、自由研究の課題の一つとして取り上げる事ができないか、見解を問う。
- (3) 今年の夏休み中における、小・中学校の児童、生徒への学びの場の提供についてどのように計画しているか。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 公共施設のあり方について

- ・ 公共施設のあり方に関する提言に対する見解、並びに検討結果及びその対応、そして報告について

2 みのお温泉施設のあり方について

- (1) みのお温泉の施設設備の日頃の定期的な点検、保守、修理、修繕のマニュアル、並びに計画、予算付け、実施について
- (2) 温泉井戸の複数化、並びに給湯配管の予備ルート化について。
- (3) 集客拡大の観点から、宿泊施設としてのグリーンハウスのリフォーム、あるいはリニューアルについて
- (4) みのお温泉、テニス村の利活用計画の策定について

3 ゲートボール場施設のあり方について

- (1) ゲートボール場の雨漏りの修理、修繕について
- (2) 老朽化対応の観点から、ゲートボール場のリフォーム、あるいはリニューアルについて、並びに利用者拡大について

4 有害鳥獣被害防止対策について

- (1) クマ、サル、イノシシの出没状況の推移、被害防止対策の現状、並びに捕獲状況の推移等について
- (2) クマ、サル、イノシシ用の捕獲檻の保有数と設置状況、並びに運用管理の現状について
- (3) 有害鳥獣被害と田畑の休耕の因果に関する見解について

- (4) クマ、サル、イノシシの捕獲に対する管理体制、並びに地域住民の協力体制の構築、専任、委託、報酬等の検討について

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 海洋深層水を活用した園芸作物の産地化について

- (1) 深層水トマトのブランド化、産地化のきっかけについて
- (2) 深層水トマトの現在までの取り組みについて
- (3) 深層水トマトの今後の取り組み計画と技術的課題について
- (4) 平成29年度重点事業に関する要望項目に「海洋深層水を活用した園芸作物の産地化に向けた技術的支援」とあるが、具体的に何を期待するのか。

2 食品ロスについて

- (1) 学校や幼稚園、保育所など、教育施設における学校給食や食育・環境教育などを通して、食品ロス削減のための啓発を進めるべきであると思うがどうか。
- (2) 家庭における食品在庫の適切な管理や食材の有効活用の取り組みをはじめ、飲食店等における「飲食店で残さず食べる運動」や「持ち帰り運動」の展開など、市民・事業者が一体となった食品ロス削減に向けての取り組みを進めることが重要であると考えているがどうか。
- (3) 本市の災害備蓄食品について、その内容・管理体制はどうなっているか。
- (4) 災害備蓄食品については、未利用備蓄食品の有効活用の観点から例えば6カ月前などにフードバンク等への寄付等を検討してはどうか。

3 教育環境の整備について

- ・ スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーの配置計画について

中川 勲 議員（一般質問）

1 鳥獣被害対策について

- (1) 有害鳥獣の今年度における被害状況はどうなっているのか。
- (2) イノシシ・クマ・サル等の捕獲檻は何基設置されているのか。
- (3) 有害鳥獣捕獲隊の方々に、猟銃免許・わな猟免許（狩猟免許）を持っているのは何人か。
- (4) 被害防除に電気柵が有効であるとのことであるが、今後、どの地域にどれだけ設置されるのか。
- (5) 鳥獣被害対策実施隊の設置は考えていないのか。

2 海浜公園について

- (1) 利用状況をどのように把握されているのか。
- (2) 駐車場が舗装されないままになっているが、その半分を芝生広場に拡充できないのか。
- (3) 隣接する衛生センター解体後に、資源ごみ保管施設と海浜公園を一体的に整備をすべきと思うが。
- (4) 海浜公園をパークゴルフが本格的にできるように、整備をしてほしいとの声が多いが考えられないか。

3 高齢者福祉について

- (1) 滑川市における高齢者福祉の現状はどうか。
- (2) 高齢者が安全・安心して暮らせる支援について伺う。
- (3) 高齢者の居場所づくりとして、サロン活動を展開されているが状況を伺う。

(4) 地域包括システムの取り組みをどう具体的に進めるのか。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 平成29年度重点要望事業について

- (1) 本江地区の急傾斜地崩壊防止対策事業の整備促進について、具体的にどのような対策を求めるのか。また他の土砂災害特別警戒区域の状況は。
- (2) 永代地上権の抹消にかかる法整備等について、休眠状態とは、どのような状態か。

2 人命を守る防災について

- (1) 滑川市AEDマップは作成してあるか。
- (2) AED救急講習会は、どのぐらいの期間に一度開催しているか。
- (3) 危機管理班は、どのような津波対策をしているか。また防災無線は適切に機能しているか。
- (4) 木造住宅の耐震改修工事費用の補助について、耐震診断で総合判定が1.0以上になる改修工事とは、具体的にどのような工事か。
- (5) 危険度レベル表をこれからどう周知するのか。
- (6) 中滑川駅周辺の、跡地利用はどうか。防災も含めた施設にできないか。

3 子育てしやすいまちづくりについて

- (1) 新児童館が開館して入館者数が増えたが、職員は足りているか。
- (2) 第2子保育料完全無料化の反応はどうか。

谷川 伸治 議員（一般質問）

1 熊本地震を受けて各町内会の自主防災のあり方について

- (1) 阪神・淡路大震災以降、自主防災組織が結成されてきたが、見直しが必要ではないか。
- (2) 近年、各町内会において、本市の自主防災活動補助金をどのように活用されているか。
- (3) 豪雨または、地震など有事の際の避難ルート、避難先そして、災害弱者を誰が介助するか、各町内会ごとに再検討すべきではないか。

2 滑川市の海上観光について

- (1) ほたるいか海上観光船の2隻運航について
- (2) 富山湾岸クルージングと今後のPR強化について
- (3) ホタルイカのブランド化に向け、最新の急速冷凍機器の整備と運営体制の構築をどのように進めていくのか。

角川 真人 議員（一般質問）

1 空き屋等の対策について

- (1) まちなかの空き家を、滑川市結婚新生活支援補助に生かしてはどうか。
- (2) 移住・定住促進の一環として、リフォーム助成制度を行ってはどうか。
- (3) 市のホームページにおいて、移住へのアピールをもっとわかりやすくしてはどうか。

2 介護について

- ・ 要支援者に対するサービスの移行の準備状況はどうか。新事業への移行での課題はどのようなものと考えているか。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 福祉について

- (1) 包括支援ケアシステムの構築の中で
 - ア 「地域包括ケアシステムとは」と題して、9地区で説明会が行われているが、住民の皆さんに何を求めているのか。今後、シリーズで開催されるのか。
 - イ 市の福祉介護課が、介護を含めた地域包括の柱を建てるべき。
 - ウ 昨年、民生環境委員会の視察に課長が同席された感想は。
 - エ 今後10年後の未来にどのような人員構成が望ましいか、組織づくりから始めないのか。
 - オ どのような区分けで進めるのか。（2つの中学校区か、9地区か）今後は予算化するのか。
 - カ 平成29年4月からスタートするこの大きな事業をいつ頃、どのような形で市民の皆さんに公表し、準備に入るのか。
- (2) 現在、入浴券、理・美容券、福祉タクシー券に、のるmycarの乗車券をプラスして福祉券にしたらどうか。
- (3) 救急キットの推進を。

2 まちづくりについて

- (1) 富山県が実施した陸砂利の発掘調査の結果を、市民に向け公表すべきでは。結果を受け今後の取り組みは。
- (2) ふるさと納税企業版が行われると聞いた。
 - ア 滑川市は、どのように取り組んでいるのか。一般のふるさと納税との違いは。
 - イ 納税科目の設定を。
 - (ア) ホタルイカの食の観光を全国に発信
 - (イ) 子ども第一主義を全国に（第2子の保育料無料化を発信）等
 - ウ 自治体のPR力の勝負では。

原 明 議員（一般質問）

1 海洋資源振興について

- ・ 新設された海洋資源振興課の今後の取り組みは。

2 選挙権年齢引き下げによる取り組みについて

- ・ 小、中、高校生における教育についての取り組みと投票率向上をどのように進めていくのか。

3 行田公園の管理と整備について

- (1) 中川の管理（バイカモも含む）の状況について
- (2) 用水と池の清掃管理について
- (3) 公園の案内や看板の整備について
- (4) 階段の手すり等を含めた施設整備について

4 観光の振興について

- (1) 富山湾岸クルージングの運航について
- (2) ふるさと龍宮まつり、新川古代神踊り街流し、花火大会について